

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8236
担当部課名	経済部	商業観光	課	商業振興 班
事務事業名	買物公園道路維持管理費		事業コード	31410

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第4節	商業・サービスの振興	~63 年度
施策名	第1施策	特色ある商業地の形成	

2 実施根拠及び関連法令等

道路法(第2条第1項、第24条但し書、第32条第1項第1号)

3 事業概要

(1) 事業の目的 中心商業地の形成を推進していくため、買物公園道路施設における、来街者に対する快適な買物空間や利便性を維持すること。		(2) 対象(誰、何) グリーンプラザさがみはら(買物公園道路施設)	
		対象数	買物公園道路施設17,550㎡
(3) 平成13年度事業の内容 買物公園道路維持管理費 5,795,647円 需用費 ・消耗品費...71,980円(トイレトーパー、ポリ用ごみ袋) ・光熱水費...3,611,984円(街路灯48基・噴水・滝・公衆トイレの電気料、噴水・滝・公衆トイレの水道料) ・施設修繕料...672,735円 役務費 ・施設賠償保険料...1,770円 委託料 ・施設維持管理委託料...1,100,398円 使用料及び賃借料 ・下水道料...336,780円		(4) 総合計画・実施計画における概要 なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度
		なし	

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	5,336	5,462	5,796	6,345
	人員・時間数	(39時間)	(39時間)	(39時間)	(39時間)
	人件費	163	163	163	163
	その他経費	0	0	0	0
	合計	5,499	5,625	5,959	6,508
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
B ▼	B:一部達成していない(100%> 80%)	
	C:達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由:	数値で明確な評価をするのは大変困難であるが、来街者に対して、快適な買物空間や利便性を提供していると思われる。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A:適応している	理由: 来街者(消費者)が商業施設に望む施設等が整備されており、快適な買物空間のための施設管理が行われている。
A ▼	B:一部適応していない	
	C:適応していない	
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A:妥当である	理由: 主な施設は(財)相模原市みちの協会に委託、その他の施設については地元商店会とも管理協定を締結しており、必要最小限の職員体制で行われている。
A ▼	B:一部妥当でない	
	C:妥当でない	
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A:代替の可能性ない	理由: この施設は市道の位置付けの中で、その道路本体や附属物、また道路占用物の設置者である市が管理するものであるため。
A ▼	B:代替の可能性低い	
	C:代替の可能性高い	
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A:満足できる	理由: 施設整備から20年経過して、施設の老朽化等によって快適な買物空間や利便性が提供しづらくなってきている。
B ▼	B:一部満足できない	
	C:満足できない	
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A:有効である	理由: 市総合計画における商業・サービス業の振興やまちづくりと一体となった中心商業地の形成を進めていく必要性において有効な事業である。
A ▼	B:一部有効である	
	C:有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: まちづくりの観点から、あらたな可能性を求めて、より地元商店会との連携を図り、商業施設整備を進めていく必要はある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 市・商店会共に財政状況が厳しい中にあり、必要最小限度の維持管理体制で行われているので、改善の余地はない。</p>

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	中心商業地の形成を推進していくため、来街者に快適な買物空間や利便性を提供する施設としての必要性は十分あるが、老朽化が進んでいるため、その再整備計画について、地元商店会等と検討して、さらにまた、まちづくりと一体となった取り組みが必要である。
<input type="checkbox"/>	継続		
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--